

あなたが選ぶ...

2009ひらつか10大ニュース



地域で活躍する人々の息づかいを伝える記事…、子供たちの笑顔を伝える話題…

新聞紙面やテレビ番組では、毎日の生活に潤いを与えてくれる明るい話題のほか、政治動向や経済情勢、スポーツの話題、衝撃的事件など、連日様々なニュースが伝えられています。

平塚市内でも、全国に波紋を広げたニュースが飛び交った2009年。市政をめぐる話題を中心に1年間の出来事を振り返り、市民のみなさんの関心度が高いテーマをランキング形式(ベスト10/番外編)でまとめます。

◆今年1年間の出来事の中で、最も印象に残っている話題を**最大10件**まで選び、**末尾の回答用紙**にご記入ください。投票は**12月15(火)まで**。お1人につき1回限りとさせていただきます。

◆エントリーされていない出来事や12月9日以降のニュースは、「自由意見欄」にご記入ください。

◆投票結果は12月下旬に市ホームページなどで発表します。

月	話題
1月	<p>1 NPOと連携して地球温暖化防止に新たな一歩 バイオディーゼル(BDF)燃料をごみ収集車に試験導入</p> <p>使用済み天ぷら油からのBDF精製に取り組んでいる市内のNPO法人から提供を受けて ごみ収集車にBDF燃料を試験導入しました。市民活動団体と行政との連携による地球温暖化防止対策の新たな一歩となる。</p>
	<p>2 木谷實生誕100年の節目に「木谷實・星のプラザ」入場者5万人突破</p> <p>囲碁のまち平塚で「囲碁文化の発信拠点」として大勢の囲碁ファンに利用されている「木谷實・星のプラザ」。1月25日の故木谷實九段の生誕100年を迎える誕生日を前に、オープンから4年目で、入場者が5万人を突破。</p>
	<p>3 第4回かながわ食育サミット in ひらつかを開催</p> <p>海・山・川の豊かな自然に恵まれ、新鮮な食材が豊富な平塚で、市内で展開している食育推進事業を一堂に集めた「かながわ食育サミット in ひらつか」を開催した。</p>
2月	<p>4 10年にわたる市民団体との協働成果を披露 「博物館まつり」で博物館活動の魅力紹介</p> <p>数多くの市民参加事業を展開し、その活動成果を博物館そのものの調査・報告活動に直結させている平塚市博物館。その成果を発表する「博物館まつり」が10年目を迎え、サークルと博物館活動とがかかわってきた歩みを紹介する展示会を開催した。</p>
	<p>5 平塚市民病院で窒息による死亡事故発生</p> <p>平塚市民病院に入院中の患者が食事をのどに詰まらせて窒息死する事故が発生。食事提供過程の一部</p>

	<p>でミスがあったことが原因。後に遺族とは示談が成立した。</p>
3月	<p>6 平塚市総合公園で遊具の一部が焼失</p> <p>平塚市総合公園内のわんぱく広場に設置してある複合遊具で火災が発生し、約15分で鎮火したものの、約36平方メートルを焼失した。</p>
	<p>7 平塚のタクシーは走る安心・安全ステーション 300台に『こども110ばん』シール掲示</p> <p>平塚市工場防犯協会が、子どもを事故や犯罪から守る目印になる「こども110ばん」シールを作成。地域安全活動の一環として神奈川県タクシー協会相模支部平塚地区会に寄贈し、市内外を走る約300台のタクシーに掲示された。</p>
	<p>8 吉沢に消防署と消防団の新施設が完成 消防活動の拠点に</p> <p>消防活動拠点の充実に向けて上吉沢地内に整備を進めてきた消防署土沢分遣所・消防団第16分団の複合施設が完成。老朽化した両施設を複合施設として建設することで建設コストを減らし、吉沢・土屋両地区における消防力の充実・強化を図った。</p>
	<p>9 玉川橋・東雲橋の架け替え工事完了 記念式典で安全祈願</p> <p>平塚市の中心市街地と市西部地域を結ぶ主要道路で、架け替え工事を進めてきた「玉川橋」と「東雲橋」が完成。鈴川に架かる玉川橋は昭和3年に、金目川にかかる東雲橋は大正15年に建設された歴史ある橋。2つの橋は、河川改修や老朽化に伴う安全対策のほか、交通渋滞緩和や利便性向上に向けて平成16年から工事を進めていた。</p>
	<p>10 平塚市環境事業センターで排出基準を越すダイオキシン類を検出</p> <p>平塚市環境事業センター（一般廃棄物焼却施設）に3つある焼却炉のうち、1つの焼却炉の排出ガスから、排出基準値を越すダイオキシン類が検出。炉を緊急停止した。緊急対策を施し、約1か月後に運転を再開した。</p>
	<p>11 ビーチセンターと平塚新港のアクセス向上 散策路「浜辺のさんぽ道」が開通</p> <p>太平洋に面した約0.6キロメートルの歩道は、ビーチパークの利便性を向上させるとともに、マラソンやウォーキングなども楽しめる遊歩道として楽しめる。途中には、富士山や伊豆大島など相模湾の景色を一望できる休憩施設「ビューポイント」も整備した。</p>
	<p>12 旧横浜ゴム平塚製造所記念館（八幡山の洋館）が開館</p> <p>平塚市内で唯一現存している明治時代の洋風建造物「旧横浜ゴム平塚製造所記念館」の移築復原工事が完了し、資料館としての要素を備えた文化施設として開館。館内には自由に見学できる展示室や応接室のほか、サークル活動等にも利用できる会議室・厨房を整備した。</p>
	<p>13 電子メール配信サービスが「ほっとメールひらつか」にリニューアル</p> <p>防犯・防災等に関する情報を電子メールでパソコンや携帯電話に届けていた「ひらつか安心安全メール」を「ほっとメールひらつか」としてリニューアル。新ジャンルとして「子育て応援メール」を盛り込むとともに、利用者が受信したいジャンルを選べるようになった。</p>
	<p>14 柳生真吾氏をゲストに迎え第36回平塚市緑化まつり開催</p>

4月	「れいぼうに たよる気持ちに 緑のカーテン」をキャッチフレーズに開催した緑化まつり。人気園芸家の柳生真吾氏も講演で登場し、まつりを盛り上げた。
	15 平塚商工会議所青年部20周年記念事業 八幡小学校校庭の一部を芝生化
	「緑の絨毯のような芝生の上を、裸足で元気に駆け回って欲しい」という願いから生まれたプロジェクト。芝生の植え込み費用は、(財)日本サッカー協会のグリーンプロジェクトが負担。維持管理は、平塚YEGが地域の方々にボランティアを募った。
	16 市立勝原小学校で指導のため児童に指紋押捺
	平塚市立勝原小学校の学級で発生した問題の再発防止のためとして、児童に指紋を押捺させた。学校は臨時学級保護者会を開催し、保護者に対して経過と概要を説明し、謝罪した。
	17 平塚市粗大ごみ破碎処理場の爆発事故
	工場棟の破碎処理機の中で爆発事故が発生。人的被害はなかったものの、爆風の影響で破碎機近くの管理室ドアの網入りガラスに大きくひびが入り破損。事故の原因は、破碎機の内部に破碎不適物が混入し、破碎機内で爆発したと思われる。約1週間で応急復旧工事が完了し、運転を再開。
	18 定額給付金受け付け開始
4月20日から受け付けを開始した定額給付金。10月20日まで半年間に渡り受け付けを行った。11月30日現在の集計では、対象世帯の97パーセントにあたる107103世帯に、3,882,700千円を給付した。	
5月	19 平成19年度全国学力・学習状況調査結果公開請求 市全体の調査結果は公開、学校毎の調査結果は非公開を決定
	教育委員会が、平成19年度全国学力・学習状況調査結果の行政文書公開請求に係る不服申し立てに対し、市全体の調査結果は公開とするが、花水小学校、浜岳中学校の調査結果は非公開とする結論を出した。
6月	20 第59回湘南ひらつか七夕まつり 織り姫コンテスト
	小島真理亜さん(21歳・大磯町)／山口実穂さん(19歳・平塚市)／木村早也香さん(25歳・東京都)の3人が湘南ひらつか織り姫に選ばれ、現在七夕まつりなどの市の公式行事で活躍している。
	21 発行総額5億円 平塚プレミアム商品券完売
	商業の活性化を目的として、定額給付金の交付に合わせ、平塚市商店街連合会や平塚商工会議所などが中心となり発行した「平塚プレミアム商品券」。1セット9,000円(額面1,000円券×10枚つづり10,000円分)で50000セット、額面総額5億円分を発売した。
7月	22 「第59回湘南ひらつか七夕まつり」開催 4日間で230万人が来場
	7月2日(木)から5日(日)まで開催した第59回「湘南ひらつか七夕まつり」は、4日間で合計230万人の観光客が訪れた。景気状況から、竹飾りの減少も心配されたが、概ね昨年並みとなり、NHKの大河ドラマをテーマにした新規掲出者が特選を獲得し、話題となった。
	23 七夕期間中に暴力団抗争 発砲事件発生

<p>第59回湘南ひらつか七夕まつり会期中に暴力団抗争による発砲事件が発生。死者もでた事件により、一時は予定されていた織り姫と音楽隊パレードも開催が危ぶまれ、周辺住民を恐怖と不安に陥れた。</p>
<p>24 平塚市でも新型インフルエンザの患者発生</p>
<p>若年層を中心に猛威を振るう新型インフルエンザの患者が平塚市でも確認された。その後も市内の小中学校で学校・学年閉鎖の措置を講じるなどの影響がでた。</p>
<p>25 平塚市立浜岳中学校・神明中学校 文部科学大臣杯 小・中学校囲碁団体戦全国大会に出場</p>
<p>神奈川県中学校囲碁選手権大会で浜岳中学校が優勝、神明中学校が準優勝。平塚市の中学校が同大会で優勝するのは初めての快挙。両校の生徒は、東京の日本棋院で開かれた文部科学大臣杯 小・中学校囲碁団体戦全国大会に神奈川県代表として出場した。</p>
<p>26 平塚競輪場施設耐震診断 耐震補強が必要なことが判明</p>
<p>平成20年7月から平成21年3月まで競輪場施設の耐震診断を実施し、メインスタンド、第1コーナースタンド及びバックスタンドについて耐震補強が必要なこと、また、第4コーナースタンドの一部に補修が必要なことが判明した。</p>
<p>27 真夏の夜を彩る「湘南ひらつか花火大会」豪華花火3000発が夢の競演</p>
<p>湘南の夏の風物詩として親しまれている「湘南ひらつか花火大会」を今年も湘南潮来(相模川河口)で開催。迫力の尺玉や水中花火のほか、毎年好評の手筒花火や平塚名物のだるまをかたどった「願かけ花火」など多彩な花火を連発した。</p>
<p>28 平塚市暴力団追放総決起大会を開催</p>
<p>指定暴力団稲川会系暴力団と同住吉会系暴力団によるけん銃等使用の殺人を伴う対立抗争事件を契機として、地域住民、平塚市及び県警察等と連携のうえ、平塚市暴力団追放総決起大会を開き、暴力団追放パレードを実施した。後に事件のあった暴力団事務所の退去が実現した。</p>
<p>29 46年ぶりの皆既日食。平塚では部分日食を観察</p>
<p>日本列島では46年ぶりに観測の機会が訪れた皆既日食。平塚市では太陽の75%が欠ける部分日食だった。当日はあいにくの曇り空だったが、博物館屋上で開かれた観察会でも厚い雲の向こうに太陽が月に隠れて欠けて見える様子が観察できた。</p>
<p>30 山口県の大雨災害被災地への支援を呼びかけ市役所窓口に募金箱を設置</p>
<p>7月21日に起きた山口県大雨災害の被災者に支援の手を差し伸べるため、市役所ロビーと福祉相談窓口に募金箱を設置し、来庁される方に協力を呼びかけた。集まった義援金を日本赤十字社を通じて被災地に届けた。</p>
<p>31 平塚工科高校が「DREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿2009」で2位入賞</p>
<p>三重県鈴鹿サーキットで開催された DREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿2009「ENJOY1クラス」において、平塚工科高校社会部がスタート直後にコースアウトするアクシデントに見舞われたものの、見事2位に入賞した。</p>
<p>32 仕事の点検作業を実施</p>

8月	<p>効果的・効率的な行政運営が求められてる中、市民の視点に立ち成果を重視した行政経営を展開するために、現在平塚市で実際に実施している施策、14事業に対して外部審査員による仕事の点検作業を対象に実施した。</p>
	<p>33 民主党が政権奪取 歴史的な政権交代実現</p>
	<p>第45回衆議院議員選挙において、民主党が300議席以上を獲得する歴史的勝利を収め、政権交代が実現した。平塚市が属する神奈川15区では自民党候補の河野太郎氏が民主党の勝又恒一郎氏を抑えて議席を獲得した。</p>
	<p>34 平塚農業高校生徒「宇宙トマト」の栽培に成功。種がスペースシャトルで宇宙へ</p>
	<p>スペースシャトルで宇宙に運ばれ、宇宙空間を漂った種から「宇宙トマト」の栽培した平塚農業高校の生徒たち。今度は、今年打ち上げられたスペースシャトルに乗って、その種が再び宇宙へと飛び立った。</p>
9月	<p>35 「わたしがえらんだいわさきちひろ展」美術館歴代1位の入場者を記録</p>
	<p>美術館で開催した「わたしがえらんだいわさきちひろ展」が、入場者数39,844人を記録。同展の入場者数は、開館以来破られていなかった「平塚市美術館開館記念 スイス プチ・パレ美術館名品展(38,911人)」を超え、歴代1位を記録した。</p>
	<p>36 衆議院議員総選挙21歳女性に比例区投票用紙を手渡さず</p>
	<p>第45回衆議院議員総選挙において、21歳の女性に比例代表区の投票用紙を手渡さないミスが発生。</p>
10月	<p>37 第14回湘南ひらつか囲碁まつり「1000面打ち大会」</p>
	<p>多くのプロ棋士を囲碁の世界に送り込んだ木谷實(きたにみのる)九段の功績をたたえる囲碁まつり。ずらりと並ぶ碁盤の前でプロ棋士が参加者の挑戦を受ける1000面打ち大会などのイベントでは、6500人の来場者で賑わった。</p>
	<p>38 カー・デザインの歴史 -NISSAN 情熱と機能の美-展開催</p>
	<p>日産自動車の特別協力を得て、公立美術館で初めて、ひとつの国産メーカーのデザインについて年代を追って俯瞰し、欧米に学んでいた黎明期から日本発のデザインを世界に発信する現代に至るまでの変遷を紹介した。</p>
	<p>39 平塚駅北口駅前広場バリアフリー化工事が完成</p>
	<p>平塚市の玄関口であり、また、交通機能の拠点である平塚駅北口駅前広場が、地下道が設置されて以来、実に40年ぶりにバリアフリー化機能を備えた新しい広場として生まれ変わった。</p>
	<p>40 新庁舎建設に向けて基本設計案に意見募集</p>
	<p>平成24年度中の一部利用開始を目標に計画を進めている市役所新庁舎建設。基本設計案を策定し、市民のみなさんに親しまれる庁舎を目指し、案への意見を募集した。</p>
	<p>41 世界最大規模のソーラーカーレース「グローバル・グリーン・チャレンジ」で東海大が優勝</p>
	<p>東海大学チャレンジセンターのライトパワープロジェクトが、オーストラリアで開催された世界最大規模のソーラーカーレース「グローバル・グリーン・チャレンジ」(ソーラーカー部門)で、有力チームを抑えて見事に優勝を飾った。</p>

	<p>42 コスモスの摘み取り、台風18号の影響で規模を縮小して実施</p> <p>台風18号の影響で壊滅的なダメージを受けた馬入・光と風の花つつみのコスモス。残っていたつぼみが健気に花をつけ、例年の3～4割の規模ながら無事に摘み取りイベントを実施した。</p>
11月	<p>43 家族一体参加型イベント「家族そろってチャリンピック」を平塚競輪場で開催</p> <p>自転車競技の普及啓発、自転車利用の促進及び環境に優しい自転車社会づくりを目指して、自転車に「乗り」「遊び」「学ぶ」家族一体参加型イベント「家族そろってチャリンピック」を開催。当日は、家族がお互いに協力して挑戦する、おもしろ自転車競技をバンクの中で実施した。</p>
	<p>44 天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭典で疾風乱舞がステージ披露</p> <p>平塚を拠点として活動する中学生から大学生まで男女65人で活動しているよさこいチーム「疾風乱舞」。この疾風乱舞が皇居前で開かれた天皇陛下御即位20年をお祝いする国民祭典に、ダンスチームとしては唯一出演しました。</p>
	<p>45 平塚市役所前庭のツリーに7000球の電飾</p> <p>平塚市役所本庁舎の前庭に立つ「レッドウッド」の木を色鮮やかなイルミネーションで装飾。電源は、省エネルギーに配慮したソーラーシステム太陽光発電を利用し、環境にやさしいエコ・イルミネーションをアピール。</p>
	<p>46 平塚市立旭陵中学校 柏木さんジュニアオリンピックで優勝</p> <p>第40回ジュニアオリンピック陸上競技大会において、A女子走高跳に出場した市立旭陵中学校3年生の柏木千明さんが、見事に全国1位の快挙を達成。</p>
	<p>47 松延小学校が2年連続全国手作り絵はがきコンクールで最優秀団体賞受賞</p> <p>市立松延小学校の児童が、牛乳パックを再利用したはがきに、子どもたちの夏の思い出を思い思いに描いた手作り絵はがき。この絵はがきが第6回手作り絵はがきコンクール(日本製紙連合会主催)において、昨年に引き続き最優秀賞(団体の部)を受賞した。</p>
	<p>48 2万6000人のランナーが疾走。第4回湘南国際マラソン</p> <p>潮風を感じながら湘南の海岸線を走る湘南国際マラソン。大磯を発着点として3回目となった大会には、今年も2万6000人のランナーが参加し、思い思いの走りを楽しんだ。</p>
	<p>49 発刊60年を迎えた広報ひらつか。図書館で記念展を開催</p> <p>昭和24年に発刊した広報ひらつか。通算900号を突破したことを記念して中央図書館1階ロビーにおいて「広報ひらつかで見る平塚の60年展」を開催した。</p>
	<p>50 湘南ベルマーレ11季ぶりのJ1昇格決める</p> <p>最終節までもつれ込んだサッカーJ2リーグのJ1への昇格争い。敵地水戸へ乗り込んで水戸ホーリーホックと対戦した湘南ベルマーレは、2点差を跳ね返す激闘を制して見事3-2で勝利。11年ぶりのJ1復帰を勝ち取った。</p>
12月	